

講演

土木學會誌 第九卷第三號 大正十二年六月

歐米最近ノ土工機械ニ就テ

(大正十二年一月二十日
土木學會總會ニ於テ)

會員工學士 坂本助太郎

内容梗概

本編ハ伊國及ビ佛國ニ於ケルらだ一えきすかべーた一米國ニ於ケルすて一むしよべる及ビどらうぐらいんえきすかべーた一ノ使用狀態容量等ニ就テ述ベ且らだ一えきすかべーた一トどらうぐらいんえきすかべーた一及ビすて一むしよべるトどらうぐらいんえきすかべーた一トノ比較ヲナシ尙どらうぐらいんえきすかべーた一使用ニ伴フ困難ニ言及セリ

歐米最近ノ土工機械ニ就テ云フ大變大キナ題目デオ話ヲ致スコトニナツテ居リマスガ私ハ歐米最近ノ土工機械ニ就テ申上ゲル知識ハナイ唯自分ノ觀テ來タ土工機械ニ就テ申上ゲル知識ハナシテ公私非常ニ多忙デゴザイマシテ迫モ講演ヲスル材料ハ纏マリ兼ネルノデゴザイマス所ガ本會カラ電報デ講演ヲシロト云フ話デ(笑)ゴザイマシタノデ土工機械ニ就テ觀テ來タコトヲ申上ゲマセウト云フコトヲ電報デ御返事申上ゲタ所ガ何時ノ間ニカ歐米最近ノ土工機械ニ就テ云フ大變大キナ(笑)問題ニナツテ少シ面喰ツテ居ルヤウナ次第デ今晚ハ自分ノ觀テ來タ事ダケニ就テ申上グマス尤モ是等土工機械ニ就テハ已ニ皆様モ御承知ノコトデアリマスカラ私ガ此處デ申上ゲル迄モナイノデスケレドモ唯觀テ來タト云フノデ其一端ヲ申上ゲルコトニ致シマスサテ自分ノ觀テ來タ順序デ申上グマスカラ或ハ前後錯綜スルカモ知レマセヌガ其邊ハドウカ御許シヲ願ヒマス最初ニ参リマシタノガ伊太利ノみらんデアリマス現在みらん市郊外ニ深サ三米窓ノボリとどみらのノ掘鑿工事ヲシテ居リマス

みらん運河ハぼう河ノ左岸ぶ。ちんざーノ下流あ。だ。河ノ合流點カラ運河ヲ引キマシテみらの港ニ達スルノデアリマス其運河ノ大ダハ幅三〇米突深サ三米突デス其掘鑿工事ヲ一寸申上グマス使用シテオル土工機械ハ吾々ガ二十年來使ツテ居リマスルらつだ。えきすかべーたーデアリマシテ其きばして一ハ一時間七五立方米突ソレニ附屬シテ居ル機關車ハ八噸土運車ノ容積ハ一・五立方米突デ二四臺ヲ連結シテ一列車トシテオリマス掘鑿機ノ動力ハ電氣デ三五馬力しゃんてんぐニハ牛ヲ二頭使役シテ居リマス次ニ觀マシタノハ獨逸ノらいんえるべかなるノ一部みてるらんどかなるデアリマス現今はのーばー郊外ニ水深二米突半ノ船溜リヲ造ツテ居リマス使用シテオルらつだ。えきすかべーたーノきやばして一ハ一時間一五〇立方米突土砂運搬用機關車ハ二十噸土運車ノ容積ハ三立方米突デ二四臺ヲ連結シテ一列車トシテオリマス列車入換用トシテハみらん港ノ動物使用トハ異ナリ矢張同型ノ二十噸機關車ヲ使ツテ居リマス此處デ鳥渡申上ゲマスガみらん及ビはのーばーデ使ツテ居リマス土運車ハ木造デ兩側ニて。ぶノ利ク様ニ土運車ノ真中ニアル圓形ノ桁ニ土砂箱ヲ取付ケ兩側ニアル四本ノ鎖デ止メテオリマス此構造ハ左右何レニモ土捨ガ出來ルノデ場合ニヨリテハ便利デスガ鎖ノ取外シニ案外時間ヲ要スルカラ賛成ガ出來ナイト思ヒマス全部木造デハ修繕ガ多クナツテ使用臺數ガ減ズルカラ餘程考フル餘地ガアルト思ヒマス

次ニみらントはのーばーノ掘鑿機ノ使用法ヲ見ルニ何レモ列車入換用ニハ他ノ方法ニ據リマシテ運搬用機關車ヲ利用シマセン吾々ハ工費其他ノ關係デ掘鑿機一臺ニ對シ大體運搬用たんくえんじん一臺ヲ使用シテ居リマスガスクリシテ掘鑿機ノ豫定能率ヲ得ル爲メニハ晝間ハ専ラ掘鑿ヲナシ夜間人夫ヲ使役シテ翌日掘鑿スルニ差間ヘナキダケノ萬般ノ準備ヲシナケレバナラナイ夫ダカラ施工上晝夜ヲ通シテ掘鑿スル場合ガアルト工程ハ時間ノ割合ニ餘程減少スルコトトナリマス尙ホ其上土工ノ成績ハ運搬用たんくえんじんノ故障ニヨツテ主ニ左右セラレマスカラ掘鑿機ノ能率ヲ充分ニ發揮サセヨウトスレバ掘鑿機一臺ニ對シ少クモニ二臺ノたんくえんじんヲ備ヘテ彼是融通スル方ガ如何ナル點ヨリ考フルモ得策ト思ヒマス其他獨逸國內ノ土工ノ仕事場ヲ探シマシタケレドモ現今國內ガ不穩デ新シイ工事ガ起ツテオランアイノカドウモ見

當リマセソカラ英國ニ參リマシタガ舊地下鐵道ノ擴築工事位デ大ナル仕事場ガ矢張リナイノテ此度ハ米國ニ渡リマシタ最初びつば一トグテ三臺ノすて一むしょべるヲ見マシタばけ、と容積四分ノ三立方やーど、きたびらトとらくた一式ハ道路ノ修繕工事ニ使用シテオリマシタばけ、と容積一立方やーど、とらく式ハ三〇呎位ノ高臺ヲ掘鑿シテ容積四立方やーどノ土運車ニ積込ミわいあるレ、ト使用シテしんてんぐヲシテオリマシタばけ、と容積三立方やーど、とらく式ハりばドトロとんねるノ掘鑿ニ使用シタモノデシタガ已ニ仕事ガ終ツテ居シタノデ運轉ノ模様ヲ見ルコトガ出來マセンデシタ尙びつばトグ以外各所デ工事場ヲ視察致シマシタ結果すてトむしょべるハ地盤ガ堅ク鐵道敷道路敷ノ切取等ノ如ク掘鑿箇所方狭ク且ツ水ノ汎濫スル虞レノナイ場所ニ適スル様ニ思ハレマス

たあんて一ぶる式すてトむしょべるニ就テ申上ゲマストで、ばーノ容積三分ノ二立方やーど乃至一・五立方やーど位ナレバだんびんぐ半徑ガ二〇呎乃至三〇呎だんびんぐはいとガ一〇呎乃至一六呎で、ばーノ容積ガ二・五立方やーど乃至六立方やーど位ナレバだんびんぐ半徑ガ二五呎乃至九〇呎だんびんぐはいとガ一六呎乃至六〇呎トナツテオル様デス
すてトむしょべるノ運轉ニ要スル人員ハ普通機關士一人火夫一人炭水供給及ビ手傳トシテ人夫一人乃至三人ヲ要スル様デスガ或會社製ノしょべるデハ以上ノ外ニて、ばーはんどる取扱專用ノ補助機關士ヲ使役シテオツタノヲ見マシタ次ギニすてトむしょべる一日(十時間)運轉ニ要スル石炭量ハ、ばー容積一立方やーどニツキ一噸位トナツテオリマスカラ内務省ノらうだーえきすかべーたーノ使用量ト比較スルト殆ンド倍ニナツテオル又油其他ノ運轉用品費ハ石炭價格ノ一割乃至二割デ兩機械トモ同ジ割合ノ様デス次ギニみあみ河改修工事ヲ視察スル目的デはみるとん及ビて、とんニ參リどらぐらんえきすかべーたーノ觀マシタ使用シテオリマシタ種類ハ、ばー容積四分ノ三立方やーど、きたびらト式二臺で、ばー容積三立方やーど、ろーらー式三臺で、ばー容積五立方やーど、ろーらー式二臺デス次ニしかごカラ五〇哩許リアルまねート云フ田舎ニ參リ高サ三〇呎許アル鐵道線路ノ切り擴ゲ工事ヲ觀マシタガ此所デハ、ばー容積五立方やーど、ろーらー式どらぐらん一臺ヲ使用シテオリマシタガ機關士ガ熟練シテオツテ、ばーヲ使用スル手際ハ恰

モ慣レタ人夫ガしよべるヲ使用スルト異ナラナイノニハ驚キマシタみあみ河デモまねーデモ三立方乃至五立方やーど、
て、ばーノどら、ぐらいんニハ容積一二立方ヤードノだんぶかーフ使用シかー一八臺ニ四十噸機關車一臺ヲ連結シテ一
列車トナシニ列車ヲ使用シテオリマシタ参考トシテまねーデえんどかとノ場合ニ於ケル一列車積込ノ時間ヲ計ツテ見
マシタラ三回ノ平均ガ二十九分デカー一臺ニ三すうんぐ數ハ一一二回トナリマスすて、む
しよべるハ同機据附地盤以上ヲ掘鑿スルニ反シ、どら、ぐらいんハ其地盤以下ヲ掘鑿スルノデスカラ河川改修工事ノ如キ
仕事場ニ河水ガ汎濫スル箇所ニハ、どら、ぐらいんノ方ガ適スルト思ヒマス地盤ノ硬軟カラ云ヘ、しよべるノ方ガ硬質ノ
土砂ニハ遙カニ都合ガヨイト思フら、だ、えきすかベーたートどら、ぐらいんト比較スルニ工事箇所ガ廣ク土質ガ餘リ
硬クナク地盤ノ不陸ガ少ナク從テ掘鑿深ガ略ボ一定シ掘鑿スペキ線ガ曲線半徑一八〇間ヨリ緩カナレバ、だ、えきす
かベーたーガ一番適當デスガ之ニ反スルトキハ、どら、ぐらいんヲ使用スル方ガ得策ト思ハレマス尙どら、ぐらいんデハ
同掘鑿機ト運搬線トノ位置ノ關係ニ充分ノ餘裕ガアルガら、だ、及ビすて、むしよべるニテハ其關係ガ殆ンド限定サレ
テオルノデ是等ノ準備工ニ相當工費ヲ要スル譯デス

れ、ほるう、んぐ、どら、ぐらいんノだいめんしょんヲ一寸申上ゲマストばけ、とノ容積ハ四分ノ三立方ヤード乃至六立方や
リ、ど、ど、ぶーむノ長サハ五〇呎乃至一五〇呎アリマス然シテ掘鑿シ得ル深サハ、ぶーむノ長サニ比例スルモノ、デえんどか
と、デ、ぶーむノ長サノ二分ノ一さいどかと、デ、ぶーむノ長サノ三分ノ一ニナツテル様デス、どら、ぐらいんノ運轉ニ要スル
人員ハ機關士一人火夫一人炭水供給及び手傳トシテ人夫略ボ二人ヲ要スル様デス、次ニ、どら、ぐらいん一日(十時間)ニ要
スル石炭量ハ、ばけ、とノ容積一立方ヤードニツキ〇・八噸ニナツテオル又油其他ノ運轉用品費ハ略ボ二割位デスカラ石炭
量ハしよべるヨリハ幾分少ナイ様デス、どら、ぐらいんノ工程ヲ申上ゲマス、ばけ、とノすうんぐ數ヲ調べテミルト一時間入
〇回乃至一二〇回位デすうんぐ一同ノ土砂ノ容積ハ、ばけ、とノ容積ノ平均八〇ばーせんと位デス又就業時間トすうんぐ
スル時間トノ割合ヲミルニ就業時間ノ内カラ機本體ノ移動土運車待チ土取場ノ手入及び運轉中ノ小修繕等ニ要セシ時間

ヲ除ケト實際すうんぐスル時間ハ就業時間ノ四〇乃至六〇ばーせんとトナツテオリマス即チ一日十時間就業スルトセバ實際すうんぐスル時間ハ四時間乃至六時間平均五時間トナルノデス又就業日數ト總日數トノ割合ハ六〇ばーせんとトナツテオル様デス今私ガばけ、と容積三立方ヤードノどら、ぐらいんヲ使用シタストレバ一日ノ工程ハ一二〇坪乃至一八〇坪デ一年間ニハ二六、〇〇〇坪乃至三九、〇〇〇坪ヲ掘鑿シ得ル計算トナリマス然ルニ内務省デ使用シテオル二百坪掘ら、だ、えきすかべーたーノ成績ヲミルニばけ、とノ回轉シテオル時間ト就業時間トノ割合ハ平均七〇ばーせんとデ就業日數ト總日數トノ割合ガ平均六五ばーせんとトナツテオリマスカラどら、ぐらいんヲ使用スルモ仕事ノ配備ヲ適當ニシタナラバえきすかべーたート同様ノ成績ヲアゲル事ハ餘リ困難デナイト思ハレマス前ニ一時間ニ於ケルすうんぐ數ヲ八〇回乃至一二〇回ト申上ゲマシタガ一二〇回ト云フノハだんぶかーラ使用セズニ附近地ニ直接ばけ、とカラ捨土スル場合カかーラ使用スルトシテモばけ、とノ容積ニ比シ積載量ノ割合ガ大ナルかーラ使用シタ場合デアツテカーノ容積ガばけ、と三杯乃至四杯位デアレバすうんぐ數ハ九〇回位ニ減リかーノ容積ガ僅カニばけ、と一杯位ノモノデアレバすうんぐ數ハ非常ニ減ジテ五〇回内外トナル様デスどら、ぐらいんえきすかべーたーノ使用ニツキ一番困ルノハ常ニどら、ぐらいんヲ緩メルコトガ出來ナイ事デアルほいすとらいんデばけ、とヲ引揚グ乍ラ一方デハどら、ぐらいんガ緩マヌ様ニ伸シテユクノデアリマスカラ詰リばけ、とハ何時モ其中間ニアリテてんしょんヲウケテオル事トナルノデススノ如キ不便ヲ除キタイト云フノデ、いわーそんばけ、とガアラハレタ此ばけ、とハどら、ぐらいんヲ緩メテほいすとらいんノミデばけ、とヲ任意ノ高サニアグルコトガ出來ルカラ使用スル蒸氣力ハ他ノばけ、とヲ使用シタトキノ七〇ばーせんと乃至六〇ばーせんとデアルト云フコトデス現今使用サレテオルいわーそんばけ、とノ容積ハ二分ノ一立方ヤード乃至三立方ヤード位デス次ニ普通どら、ぐらいんニ使用サレテオルばけ、とノ名稱ヲ舉グマストベーじ、ふむ、じらす、しな、ぶる、もーにんぐはむ、ぶろーにんぐ、あーすてん、ういーくす等ノ種類ガアル様デス尙ホ軟カナ土砂及ビ砂利ノ掘鑿及ビ採取用トシテハくらむせる或ハあらあんじびーるばけ、とヲ使用シテオリマスどら、ぐらいんえきすかべーたーノ使用ニ際シ第二

ノ困難ハ堅硬ナル地盤ニ遭遇シタ時デ特ニ下部ニ硬盤ガアツテ上表面ニバラバラノ土質ガアルト非常ニ掘リ悪クナル普通どらべらんノ此缺點ヲ除ク目的デ近頃がいで、とどらべらんばけとえさすがベーた一ガ製作サレテオリマス之ハ詰リばけとガがいどぶーむニ沿フテ前後ニ運動スル様ニナツテオルダケノ差デスがいで、とどらべらんノばけとノ容積ハ四分ノ三立方ヤード乃至一・三立方ヤードデブーむノ長サハ二五呎乃至四〇呎位ガ普通ダト云フコトデス。今日ハ是ダケニ致シマシテ再ビ機會ヲ得テ申上ゲマス(拍手)

右講演後左ノ質問應答アリタリ

- 副會長中山秀三郎君 烏渡會長ガ不在デスカラ私ガ代リマス何カ御質問ガアリマスレバ此際ドウゾ御發言ヲ願ヒタイ
- 眞田秀吉君 問 獨逸デニ〇噸ノ機關車ヲ使ツタト云フ御話デスガれ一るハ何封度位ノれ一るデゴザイマスカ
- 坂本助太郎君 答 四五封度位ト見テ參リマシタ
- 中村廉次君 問 亞米利加ノヤウニ曲ツテ居リマシタカ
- 坂本助太郎君 答 曲ゲテ居リマセヌ然シ線路ハ非常ニ惡ウゴザイマシタ却テ吾々ノ使ツテ居ル方ガ良イ様デス掘鑿トシテハ外國ニ餘リ劣ツテ居ラヌト思ツテ居リマス
- 中村廉次君 問 石炭ノ消費量ハ何ンダカ澤山ノヤウニ聞イテ居リマスガ
- 坂本助太郎君 答 石炭ノ消費量ハ一きうびづくやードニ對シテ一日一噸位ト云フコトデアリマシタ
- 青山士君 問 ソレハきみばしちーデ
- 坂本助太郎君 答 島渡訂正シテ置キマスガ今一きうびづくやードト申シマシタノハ機械ノばけとノきみばしちー一きうびづくやードニ對シテ一日ニ要スル石炭ノ量ガ一噸サウ承知シテ宜イト思ヒマス
- 青山士君 烏渡蛇足デゴザイマスガ隨分しべるガ兩三年以來大分試ミニヤルノニ石炭消費量モ今日普通ノモノデアルト矢張ばいぶる一約四千斤位要ルサウシマスルト一坪普通ノえきすかべーたーデヤルド二千斤ハドンナ惡イ處デモ要

ラナイ所ガ三千五六百斤要リマス四分ノ三きうびくやード云フト鐵道省ニモ御使ヒニナツテ居リマスソレデ日ニ五

十坪月ニ千二百坪續ケテヤツテ居リマスガ可ナリ良イ機械ダト思フ廣イ處ハドウカ知ラヌガ狹イ處ハ取除ケル或バ山ナ
ドデハ準備工ハ要ラナイカラ宜イデハナイカ丁度倍ニナツテ居リマス人力ト同ジニナツテ居リマス鳥渡失禮ナガラ

○青山士君 問 今ノ土工機械デ掘鑿ノコトヲ主ニ御話ニナリマシタびんくわごんニ就テハ獨逸ノおうたーるノ仕事ノ
御話ガアリマシタガ米國ニ於テモ定メシ澤山わごんハ御見物ト思ヒマスガソレーツ吾々ノ使ツテ居ルあらんだ式ノモ
ノニ比較シテ御話ヲ願ヒタイ

○坂本助太郎君 答 今鳥渡亞米利加ノわごんノコトヲ申上ゲルコトヲ忘レマシタガ亞米利加デまねニ參リマシタ時
ニハばけつとノ土砂ヲ受ケルわごんトシテ一二キうびくやードノごんぶれすどえーやノわごんヲ使ツテ居リマス詰
リ一坪半入デ深サハ非常ニ淺ウゴザイマシテどらぐらんヲ受ケルニハ大變ニ便利デ吾々ノ方デ使ツテ居リマスモノ
ト比較ニハナリマセヌ淺ウゴザイマシテ一臺ゴトニ皆壓搾空氣ノ裝置ガだんぶかニ附イテ居リマス土捨場ニ行ツテ左
デモ右デモ引線返ルヤウニナツテ居リマス第一其わごんニ就テ考ヘマシタノハ非常ニ便利デ宜イガ自分ノ見タノハ非常
ニ傷ンデ居リマシタでーとんデ觀マシタ三きうびくノどらぐらんハ掃除ガ行キ届カナイノデ油ヤ砂ガ附イテ居リ
マスシ使用シテオツタわごんモ非常ニ傷ンデ居リマスソレカラまねーデ見タわごんモ損ジテ居リマシタ是ハ平常手入ヤ
修繕ヲ怠ツタ結果カ餘リ使ヒ過ギタ爲ニ傷ンダカ鳥渡判断ニ苦シテ歸ツタ次第アリマス

○眞田秀吉君 問 ソレニ就テ申上ゲタイト思フコトハ其だんぶか一昨年荒川ノ處デ試驗用ニ九きうびくノモノヲ
買ツテ頂イテ試驗ヲシタソレデ今普通ノ本ノだんぶか一トーツノ場所デ一ツ措キニツケマシテ大分成績ガ分ツテ來タソ
レハ片山君ドウゾ説明ヲナサツタラ大分江湖ノ參考ニチラウト思フ

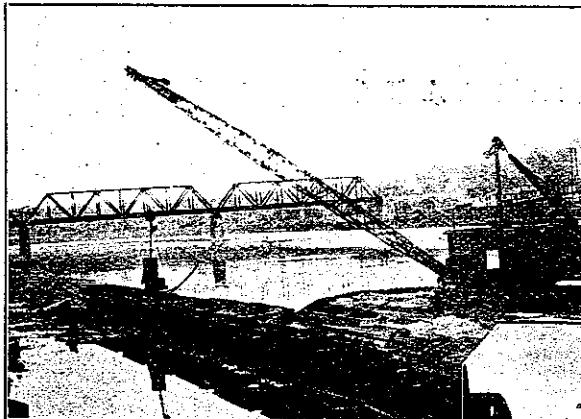
○片山貞松君 荒川ノ上流ノ改修デだんぶか一十四臺買ツテ貫ヒマシタソレハ從來吾々ノ使ツテ居リマスノハ五噸積
石土運車デアリマスカラ其きうばしち一モソレニ合セタモノヲ二十四臺丁度一列車三十臺ノ長サ位ノモノデアリマシテ

何分ニモ價ガ高イカラ餘リ買ツテ貰ヘマセヌ一列車分ダケ買ツテ費ヒマシテ二列車ニ使ツテ居リマスカラ從來ノモノト
だんぶか一ノ一列車ト交換ニヤルノデ仕事ハ仕ニクイケレドモ同ジ一列車ニシマシテモ運搬ノ泥ガ大キイノトソレカラ
棄場ニ於テ引継返スノガ樂ニ行キマス其成績ニ於テハ大變好イト認メラレマス修繕ノ點モモウ約一年近ク使ツテ居リマ
スケレドモマダ殆ド修繕ラシオ修繕ハ起ラナイ勿論コチラノモノトアチラノ機械工場デ出來タモノトハ殆ド比較ニナラ
ヌ程物ハ良不ヤウニ思ハレマスソレ故ニ出來ルナラバだんぶか一ノ方ニ皆換ヘテ頂キタイト思ツテ居リマス位デ唯其値
段ガ高イモノデスカラ一臺ガ千三百五十圓バカリシマス

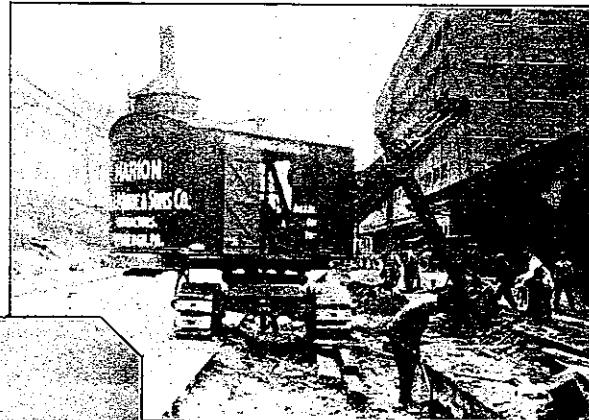
○井上秀二君　問　鳥渡先程えきすかべたトすて一むしよべるニ就テ有益ナ御話ガリマシタ地勢上ニ就テ御話ガア
ツタヤウデスガ地質ガ色々變ツテ居ル場合ニドレガ正當カト云フコトニ就テ若シ調べガアリマシタラ
○坂本助太郎君　答　私ノ見タ所デハ判断デ或ハ誤ツテ居ルカモ知レマセヌガ地質ノ硬イ所ニハ一番すて一むしよべる
ガ適當ノヤウニ思ヒマス吾々ガ使ツテ居リマスえきすかべたトヨリハどちら、ぐらいんノ方ガ地質ガ硬クトモ間ニ合フ
様デアリマス唯軟カイモノ、中ニ硬イ地盤ガ一部分アルトどら、ぐらいんノ使用ガ困難ナノデがいで、とどら、ぐらいん
ヲ此頃使ツテ居ル様デスソレハばけ、とノがいどら、ぐらいんヲ使ハズニふれ、一むニばけ、とヲ取付ケテ引張ルト云
フ主義ヲ執ツテ居リマス

○副會長中山秀三郎君　別段御質問ハアリマセヌカソンナラ私ハ鳥渡講演者ニ御禮ヲ申述べマスガ今後土木ノ仕事ハ今
迄ヨリヨリ以上機械ヲ用ヰナケレバナラヌ時期ニナツテ居リマス此場合ニ坂本君ハ海外ニ行カレテ其事ヲ御調べニナリ
マシタ勿論是迄内地ニ於テ十分サウ云フ方ニ就テハ御經驗ヲ有ツテキラツシヤル方デアリマスカラ此御視察ハ今後ノ土木機械ヲ利用スル上ニハ本邦ニ
多大ノ利益ヲ與ヘル事ト信ジテ居リマスガ本日ハ御歸朝後非常ニ御多忙ノ所ヲ御総合セ下サレ本會ノ爲ニ特ニ大阪カラ
御出デ下サツテ有益ナ御講演ヲシテ戴キマシタ事ハ一同感謝ニ堪ヘマセヌ一同一代リ御禮ヲ申上グマス(拍手)　(完)

寫眞第四　はみるとん市どらっぐらいん(ろーらー式)でっぱー容積三立方ヤード

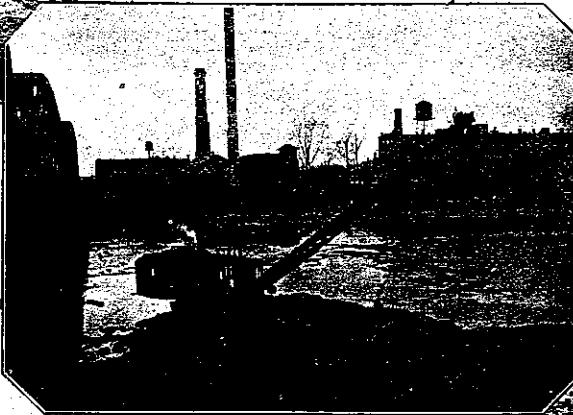


寫眞第一　米國びっつばーぐ市すてーむしょべる(きやたびらー式)ばけっと容積四分ノ三立方ヤード



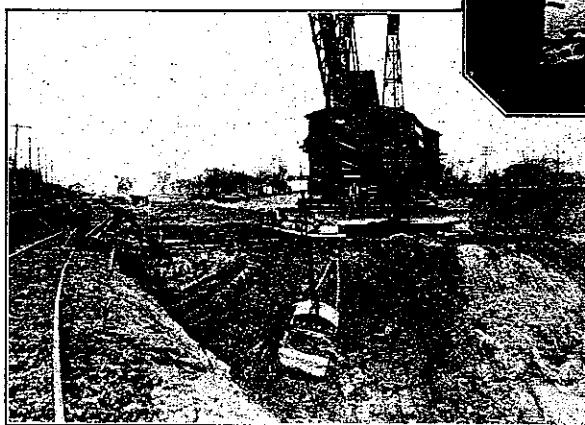
寫眞第三

でーとん市どらっぐらいん(きやたびらー式)でっぱー容積四分ノ三立方ヤード



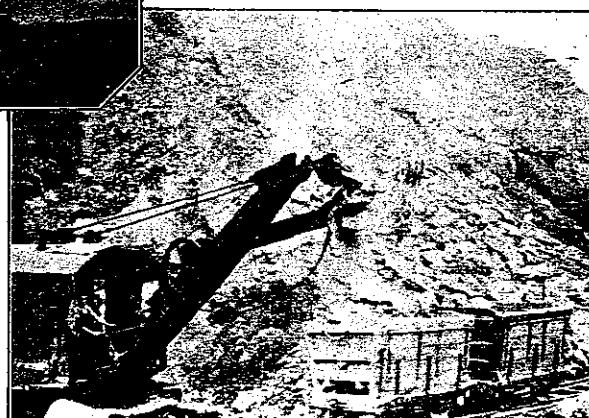
寫眞第五

まねーたおん・どらっぐらいん(ろーらー式)でっぱー容積五立方ヤード

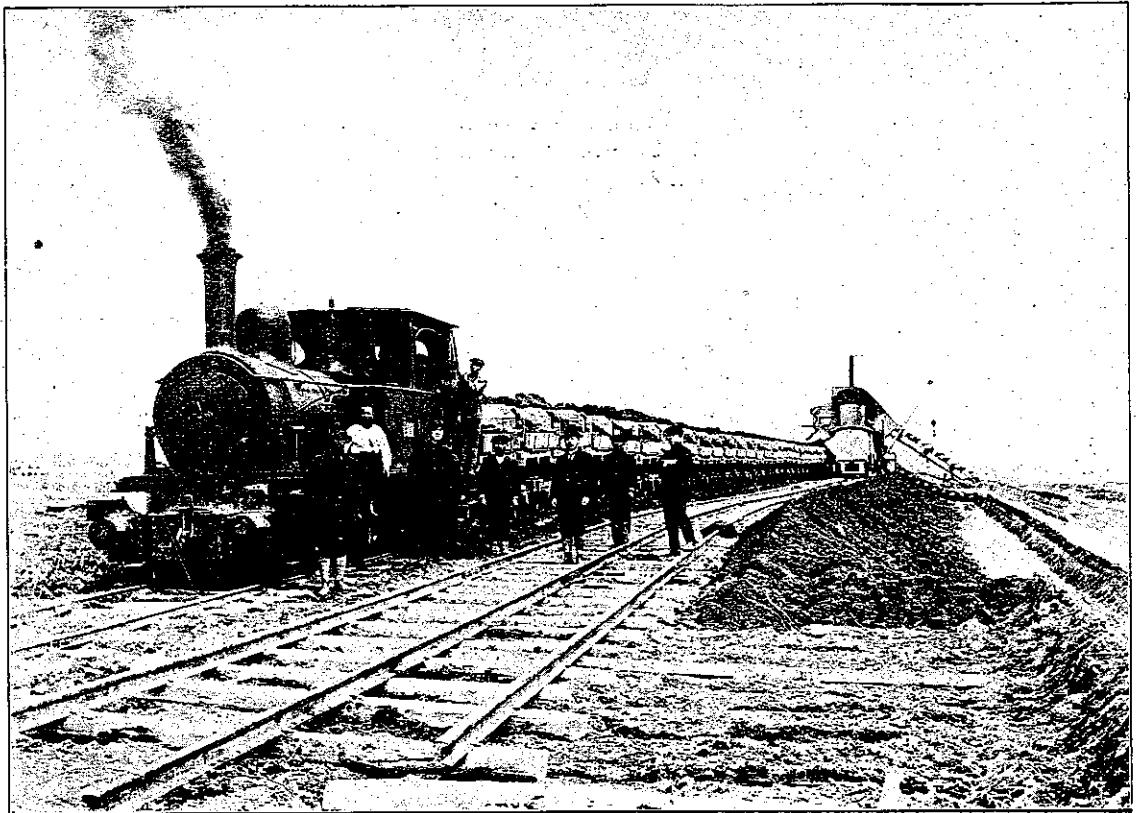


寫眞第二

びっつばーぐ市すてーむしょべる(とらっく式)ばけっと容積一立方ヤード

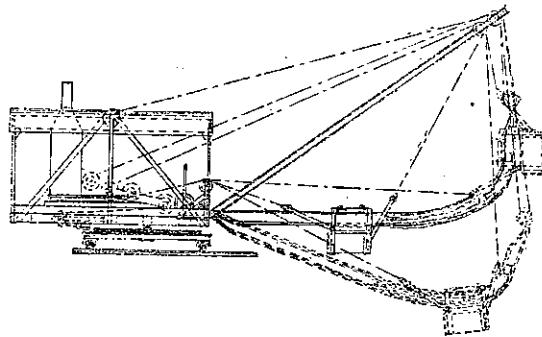


寫真第六 二百坪掘鑿機ト二十噸たんくえんぢん

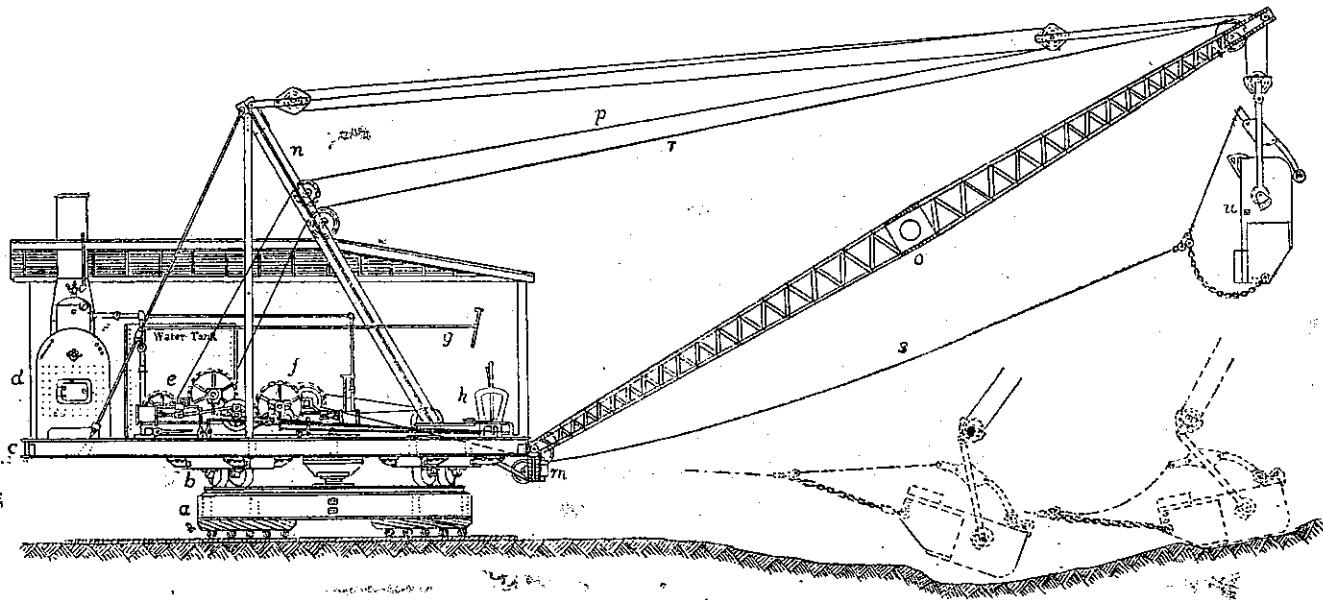


(土木大作業場の写真)

附圖第二 じやこぶ・がいでど・どらぐらいん・えきすかべーた-



附圖第一 すくれーぱー・えきすかべーた-(どらぐ・らいん)



a, Lower frame; b, turntable; c, upper frame; d, boiler; e, hoisting engine; f, swinging engine; g and h, operating levers; m, fair lead; n, A-frame; o, boom; p, boom fall line; r, hoisting line; s, drag line; u, bucket.